

学科名	情報学科						
科目名	日本語表現法基礎Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1単位	開講時期	後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	村上 義明						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の特性を正しく理解し、使用できる。</li> <li>・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。</li> <li>・語彙・言葉の意味を正しく理解し、使い分けができる。</li> <li>・漢字・表記を正しく使用できる。</li> <li>・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を修得する。</li> </ul>						
日程と内容	第1回：講義概要＋文法4 1回目 第2回：文法4 2回目 第3回：語彙・言葉の意味1 1回目 第4回：語彙・言葉の意味1 2回目 第5回：語彙・言葉の意味2 1回目 第6回：語彙・言葉の意味2 2回目 第7回：語彙・言葉の意味3 1回目 第8回：語彙・言葉の意味3 2回目 第9回：語彙・言葉の意味4 1回目 第10回：語彙・言葉の意味4 2回目 第11回：漢字・表記1 1回目 第12回：漢字・表記1 2回目 第13回：漢字・表記2 1回目 第14回：漢字・表記2 2回目 第15回：まとめと総合問題 定期試験						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習	50%	50%	実技 部外評価 プレゼンテーション			
		50%		計	100%		
授業到達目標の達成度	内容、日程ともにおおむねシラバスどおりに講義することができた。各回の課題・試験において到達目標を意識した取り組みを実施した。						
反省点	板書についての評価が平均より低かった。板書が多くなる講義であるため速さを優先させた部分もあった。もっと見やすい板書計画が必要であろう。						
来年度の計画	授業内容は今年度とおおむね同じものである。今年度の前期・後期を通して気づいた点を活かしていきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	評価は平均なみであったが、自宅学習時間の少なさが目立つ。この点の改善が必要である。						
履修登録者数	66名	定期試験 受験者数	58名	合格者数	55名	合格率	95%